

さいたま市シニアユニバーシティ岩槻校第9期校友会会報第4号

小野 ○○総務委員長

ワンコインのモーニング会

日曜日の朝8時30分頃になるとマンションの駐車場に7～8人のおじさん達が集まる。この様子はもう30年以上続いている。私が住んでいるマンションは35年ほど前に新築され、当時から入居しソフトボールで汗を流しながら今日まで続く良き仲間達である。年齢差は15歳以上、職業もサラリーマン 自営業などいろいろで近くのファミレスに行き430円～500円の朝食をとりなんとなく話しするが、年齢の推移とともに話題も変化が... 30代は仕事の話し 40代からは子供の進学など... 50代から60代になると孫 退職後 健康 年金などの話し年を重ねるごとに話題も変わったように思える。時には飲み会 一泊旅行などを実施してきたが 年齢とともに活動も鈍りがち。しかし、この朝の2時間が今週への活力へ。

正月を除き毎週の行事が30年以上継続しているが、何か肩のこらない関係でよき距離感がよかったのか？大切な日曜日の貴重な時間を与えてくれた妻に感謝しつつ、はたして、これから何年朝食が一緒にできるか。8人のメンバーが事情により6人になったが... 学生時代の友人、近所での友人など、私にとってかけがえない財産ですが4年前からはシニア大学岩槻校9期でもすばらしい出会いが生まれました。これからは、家族と、良き友人とゆっくりした時間を過ごしたい。ふとした出会いで知り合った良き友を大事に、そう思う日々です。

古希を迎えて

7班 熊倉 ○○

古希を迎えて思うことは、1番に健康維持という事です。このまま元気でいられたらどんなに幸せな事かと思えます。今、健康維持の為にしていることは、毎日のウォーキング、水泳、グラウンドゴルフです。ウォーキングは毎日50分位でもう2年以上続いています。友達とその愛犬と夕方決まった時間に歩くのですが、犬はなついてくれたし、お蔭で身体もスリムになりました。晴れていると富士山が見えて、そよ風が吹き、小鳥が囀り四季の風情を感じることが出来ます。水泳は教室に入って4泳法ができるようになりました。グラウンドゴルフはとても楽しくプレイできます。大会に参加して、より楽しんでます。お蔭さまでゆったり・まったりとした日常です。朝が来るのが楽しみで、朝ドラ(朝がきた)を見て1日が始まります。



あれから1年・・・突然の出来事・・・それは28年11月1日の事。クラスの仲間と文化祭の練習時脳梗塞で緊急入院となった 人生何があるか解らないというけれど本当に吃驚した。皆さんの適宜な判断で私を病院に送ってくれて心配をしてくださったことを一生忘れません。9期の素晴らしいクラス仲間。近場によき友が大勢いてくれることに感謝いたします。心配そうな顔で送り出してくれた人たち忘れられない瞬間でした。有難うございました。成功裡に無事に終わった文化祭の写真を見てあ～良かったと安堵12月全体集会時に皆様に退院の報告をすることが出来ました。優しく迎えて下さった友を見て、とても嬉しく思いこの輪の中にいられる幸せを実感したところです。これからもどうぞ宜しく願い致します。

湯豆腐で心身温もりるたるかな

梅雨曇り古墳に登る子等の声

「埼玉にいて東京知らず」という言葉はないが、恥ずかしながら齢 79 にして初めて北の丸公園や皇宮東御苑に行くことができた。靖国神社や日本武道館には行く機会もあったが、皇居の中には初めて足を踏み入れた。どちらの公園も樹木や草花が所狭しと植えられて、春夏秋冬いつ来ても目を楽しませてくれるところだ。紅葉回廊も素晴らしいが様々な草花が目を楽しませてくれた。又、宮内庁三の丸尚蔵館では、多彩ないにしえの賢者の書に接することができ、中でも徳川斉昭の「誠」の1幅には強いインパクトを受けた。広い芝の上での弁当も格別で 24 名の参加者も大満足の日であった。出発から帰宅まで時間通りの企画力には本当に頭が下がる思いである。

団体での事業を計画実践するには並大抵な努力ではなかなか満足のゆく結果は出せないものであるが、今回の史跡めぐりも部長を中心として用意周到な下見を含め準備・計画には 100 点満点を送りたい。人間には将官タイプと副官タイプがある。副官というのは将官を補佐する役目で、今日の言葉で言うと幹事役と表現する方が適切である。発案・下見・予算・計画書作成・案内・実行等など、それは滅私奉公という言葉でしか言い表せないものである。

「自らの行為が他人を喜ばせ、牽いては自分の喜びと成す」という言葉とともに感謝して筆をおきたい。

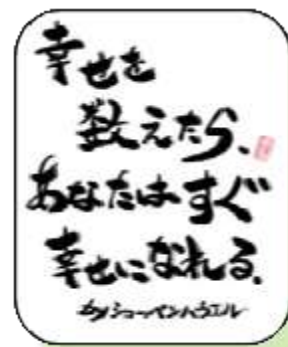


「幸せ」と感じるとき

4班 浪江 ○○

テレビで「今あなたは幸せですか？」との問いがありました。私は「幸せです。」と心の中で返答しました。放送が終わり、私は「何が幸せか」を考えてみました。

その1 定年退職後のことですが、自宅で昼食後テレビを見ていたら眠くなりましたので、ソファで横になっていたところ、妻から「風邪を引くから布団で寝たら」と言われました。真昼から徹夜や病気でもないのにパジャマになり布団で寝ることなどはなかったのですが、布団に入る際、申し訳がないような、くすぐったい感じで、何とも言えぬ「幸せ」を感じました。



これは、現役時代、災害出動に備えて執務服のまま仮眠をしていた時のことや、自宅にいても常に緊急招集に対応した生活環境から、誰にも起こされず、電話にも出ず就寝できることが、どんなに幸せなことか経験しているからと思いました。

その2 孫から「爺ちゃん、誕生日何がほしい」の電話、しかし、最近では、孫ではなく息子たちが携帯メールで聞いてくることが多くなりました。でも、忘れずに頂戴できる感謝です。

その3 パソコン教室で、見ず知らずの方から「分かり易い講習で有り難うございました。」とお世辞にも言われたこと。

その4 「妻の膝枕で耳掃除」、これが思い当たる一番の「幸せ」でしょう。

その他にも、いろいろなこと思い出しましたが、「幸せ」と感じることは、金銭ではないちょっとしたことで感じていることを再認識しました。皆さんも意識しないと分からない「幸せ探し」を試してみませんか？

紙芝居でたずねる岩槻の伝説

講師 内田 茂先生

年の瀬も押し迫る 12 月 14 日自主講座として表記の紙芝居が、長い間当岩槻の教育にご尽力くださった内田先生お話と共に上演された。内田先生に直接教わった方もおられるであろうし、多分子弟が沢山お世話になったことと推察する。先生は「ステージ紙芝居」と称して老人ホームなどで多彩な活動をなさっておられる。岩槻には約 50 の伝説が有り、その歴史は 90 年に遡るとのこと。当日は多くの伝説の中から「浄安寺のちご桜」と「慶伝さま」の二つを披露して頂いた。88 歳のお歳にも拘わらず、矍鑠とした語り口とその声量の豊かさには驚きの連続であった。(文責瀧田)



本格的な紙芝居風景でした

懇親会盛大に開催

全体集会終了後、鮎又で開催された。関谷会長よりこれまでの活動に対する謝辞が有り、特に文化祭における我が 9 期のサポートが成功裏に終わったことに対する慰労の言葉もあり、宴会では坂本節満開の宴となった。特に今年度は殆ど欠席者も無く「我が 9 期ここにあり」との声も聞こえてきた。この 1 年間を振り返り、浪江総務部長から PP による映像と音声で様々な活動をもう一度振り返る事が出来て、笑いあり驚嘆の声ありで大いに盛り上がった。今回は各班ごとにマイクの前で芸の披露があり、芸達者な校友会員の芸に時の立つのも忘れ、締めくくりは高山さんの炭坑節で一つの輪になって 29 年を迎えるよきひと時となった。当然二次会三次会と流れ込んだのは言うまでも無い。御苦労さんでした。



感謝の言葉を述べる関谷会長

(瀧田 ○○記)



高山さんと相変わらずの名調子・坂本節さく裂



元気が何よりの 9 期の若者揃い



盛り上がる町田さん



杉山さんと 7 班の精鋭



皆で輪になって踊ろう

深川七福神巡り

史跡めぐりクラブ

平成 29 年 1 月 11 日 (水)

史跡めぐりは晴天に恵まれ、春日部駅から 13 名、「深川七福神めぐり」に出発、深川七社寺に祀られている七福神の巡礼札所とはいえ、柏手か合掌か迷いながら巡りました。古い街並みを眺めながら相撲部屋のあるところでは親方は誰かなあとはなしながら散策、前々日あたりテレビで紹介された「佃煮屋」さん「チーズ店」などでおみやげをゲットし、『閻魔大王』に参拝者一同ボケ封じの祈願をし、富岡八幡宮境内の「横綱力士碑」を見学した。(途中から参加 1 名)



楽しい俳句入門

俳誌「寒雷」同人会研修部長
高橋 邦夫先生

先生ご自身の自己紹介後、俳句は難しいものではなく誰でも楽しむことができますから始まり、人の句を読んだり自分で詠んだりしているうちに、俳句の深さも段々理解できるようになり、より楽しくなります。とのお話を伺いました。

俳諧連歌の発句が独立して、一つの詩形式となったものが俳句であると説明され、今は冬なので、冬の季語を 1 つ入れた俳句を作りましょうと課題を与えられました。

早速、出席者 34 名、各々指折り数えて五七五になるかと、ことばを四苦八苦しなながら探し、持ち時間内に提出、先生の添削・指導・講評となり、秀作あり、川柳ありと、又「てにおは」ではないが韻をふむとか、一句一句を丁寧に添削して頂きました。さすがに日頃俳句を詠んでおられる方は、素晴らしい句を創っていました。お忙しい中、ご指導有難うございました。(樺木 ○○ 記)



高橋先生から「この教室の俳句のレベルは非常に高く、可なり詠み込んだ生徒さんが多いのではないかと」のお褒めの言葉を頂きました。先生から◎を頂いた句を御披露します。

山茶花や日をついばみぬ番鳥
住みなれし産土神を恵方とす
幼稚園児の足あと残る霜柱
寒月の風を感じて雉子の鳴く

福寿草家族のようにかたまれり
初詣で太鼓高なる空の青
天きりり母の思いの実南天
吹だまり色とりどりの落葉積む